

<b>研究課題名</b>	<b>コロナウイルス既感染患者の全身麻酔下手術後合併症予測因子の検討</b>
<b>研究の意義・目的</b>	本研究は、大阪公立大学が管理するデータベースに診療情報のデータを登録します。コロナウイルス感染症は 2019 年に初めて報告されて以来、世界中で大流行し本邦でも多数の患者が報告されています。全身麻酔下手術後の合併症や術後予後予測因子として様々な結果が報告されていますが、コロナウイルス既感染であることが複数の手術で予後を悪くすると報告されています。しかしながら、十分な報告は無く、本邦においてはコロナウイルス既感染患者の周術期合併症や術後予後予測因子を調査した報告はありません。本研究では手術前の情報や検査が、周術期合併症や術後予後の予測因子として有用であるかを検討します。これらが予測因子として有用であると明らかにすることができれば、術後合併症の軽減など周術期アウトカムの改善に寄与しうると考えられます。
<b>研究を行う期間</b>	機関の長の実施許可日 ~2025 年 12 月
<b>研究協力をお願いしたい方 (対象者)</b>	2022 年 3 月 1 日~2023 年 6 月 30 日の期間に大阪公立大学医学部附属病院において、全身麻酔下手術を受けた方が対象となります。
<b>協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目</b>	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患、心電図検査、血液検査、術後 3 か月以内の合併症】
<b>試料・情報を利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</b>	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科麻酔科学のみで行います。
<b>本研究の 利益相反</b>	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
<b>研究に協力を したくない場合</b>	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
<b>連絡先</b>	大阪公立大学大学院医学研究科 麻酔科学 (担当者氏名) 辻川 翔吾 電話番号：(06) 6645-2186 メールアドレス： <a href="mailto:shogo.tsujikawa@omu.ac.jp">shogo.tsujikawa@omu.ac.jp</a>